

オトナの課外授業 2026

【発売日】
2026年6月30日(火)



【チケットのお求め】 サラマンカホールチケットセンター 窓口、電話 058-277-1110(9:00~21:30) サラマンカオンラインチケット

シリーズ
5

加藤昌則かく語りき! 「フィガロの結婚」で知るオペラの醍醐味 ～知って益々好きになる!?

モーツァルトの代表作にしてオペラ史にも凜然と輝く傑作。このオペラが今なお大人気オペラなのはオペラの醍醐味が凝縮されているからでもあります。「フィガロの結婚」の中身に触れながら、オペラとは? オペラの面白みとは? 聴衆を魅了する訳とは!? 知らぬは損なオペラの魅力を紹介し、「フィガロの結婚」も大いに楽しんでしまおうという、今回はサラマンカホール特別編の100分レクチャー!



2026年9月13日(日) 14:00~16:00(開場13:30)

講師:加藤昌則(作曲家・ピアニスト)

会場:サラマンカホール リハーサル室 定員:60名 料金:1,000円

シリーズ
6

音楽学者が語ります! モーツァルトのオペラ「愛」の発見

『フィガロの結婚』はあらゆるオペラで最も有名なオペラのひとつです。人気アリアも目押し、芝居としても面白い。しかしいざドラマを全体として理解しようとすると、意外にも一筋縄でいかない箇所がたくさんあります。よくよく考えれば「ここでどうしてこんな音楽をもってきたのかな・・・?」といぶかしく思うような場面が少なくないのです。それらを理解するには、モーツァルトがどんな状況の中でこの作品を書いたのか、そしてモーツァルトのメンタリティーがどのようなものであったかを広く知る必要があります。この講座では作品をより楽しむための背景知識を紹介しようと思います。



2026年10月17日(土) 14:00~16:00(開場13:30)

講師:岡田暁生(京大名誉教授)

会場:OKBふれあい会館 3階 302大会議室
定員:120名 料金:1,000円

関連公演

宮本益光 MOZART SINGERS JAPAN オペラ「フィガロの結婚」 2026.11/8(日)14:00開演(13:30開場)
全席指定 S席5,000円(サラマンカメイト:4,500円) A席3,000円(サラマンカメイト:2,700円) サラマンカメイト先行発売2026.7/10(金) 一般発売2026.7/17(金)

特別授業

知っておきたい古典 その5 二人でたどる「能楽～雪月花の舞姿」

今、能楽界で最も人気のあるお二人が、舞台の合間をぬってサラマンカホールに登場する贅沢な特別授業。今年は「雪月花」の名所を巡り一年の四季折々を楽しみます。雪深い佐野(群馬県)を舞台に繰り広げられる鎌倉武士の気概

の能楽「鉢木」。月の煌々と輝く近江の国、三井寺に親子の再会を喜ぶ「三井寺」。最後に京都嵐山の満開の花の下、蔵王権現が神仏習合の姿になって現れる能楽「嵐山」。「雪月花」の三名曲をシテ方辰巳満次郎、辰巳和磨の舞と共にご紹介させていただきます。



2026年11月28日(土) 18:00~20:00(開場17:30)

講師:辰巳満次郎(宝生流シテ方)、大倉源次郎(小鼓方大倉流 十六世宗家人間国宝)

会場:サラマンカホール 定員:100名 料金:2,000円(サラマンカメイト:1,800円)

シリーズ
7

ショパン・コンクール 最高峰の舞台を読み解く

第19回ショパン・コンクールでは、桑原志織や進藤実優といった日本人ファイナリストを含むアジア勢が躍進し、広く注目を集めました。ショパン作品のみで競う大会の様子は全世界にライブ配信され、その結果は出場者のキャリアに大きく影響します。2025年とはどのような演奏が繰り広げられ、課題曲や採点方法の変更はどのように影響したのか...?ピアニストとして活躍し、3回にわたってショパン・コンクールを取材してきた青柳いつみこ氏が、ワルシャワ現地で見つめてきた「最高峰の舞台」を振り返ります。



2027年1月23日(土) 14:00~16:00(開場13:30)

講師:青柳いつみこ(ピアニスト・文筆家)

会場:OKBふれあい会館 3階 302大会議室
定員:120名 料金:1,000円

関連公演

関本昌平×沢田蒼梧×神原雅治×進藤実優
ショパン・コンクールの精鋭たち
2027.2/28(日)14:00開演(13:30開場)
全席指定 S席4,000円(サラマンカメイト:3,600円)
A席2,000円(サラマンカメイト:1,800円)
サラマンカメイト先行発売2026.10/6(火) 一般発売2026.10/13(火)

シリーズ
8

親愛なるレニー レナード・バーンスタインと戦後日本の物語

20世紀アメリカを象徴する巨匠レナード・バーンスタインと長期間にわたり親密な関係をもった二人の日本人がいた。1940年代から熱心なファンとしてバーンスタインを敬愛し、家族ぐるみにつき合いを続けたカズコ。そして、1979年の出会いで熱烈な恋に落ち、後にはマエストロの右腕としてその活動に貢献したクニ。二人がバーンスタインに送った数々の個人書簡を読み解きながら、「世界のマエストロ」の誕生と道程における日本の位置づけを辿る。



2027年2月6日(土) 14:00~16:00(開場13:30)

講師:吉原真里(東京大学グローバル教育センター教授)

会場:OKBふれあい会館 3階 302大会議室
定員:120名 料金:1,000円

関連公演

コトバとピアノデュオ 手紙シリーズVol.7 ウェストサイドストーリー
石原佳世・岡崎章ピアノデュオ 語り:後藤卓也
2026.12/25(金)19:00開演(18:30開場)
全席指定 1,500円(サラマンカメイト:1,350円)
サラマンカメイト先行発売2026.9/10(木) 一般発売2026.9/17(木)

【シリーズ5】 9月13日(日)

加藤昌則 (作曲家・ピアニスト)

東京藝術大学作曲科首席卒業、同大学大学院修了。作品のジャンルはオペラ、管弦楽、声楽、合唱曲など幅広く、多くのソリストに楽曲を提供。共演ピアニストとしても評価が高く、創意あふれる編曲にも定評がある。また独自の視点で企画する公演やクラシック講座などのプロデュース力にも注目を集めている。NHK-FM「鍵盤のつばさ」番組パーソナリティー(2016-)、長野市芸術館レジデント・プロデューサー(2019-2023)、ひらしん平塚文化芸術ホール音楽アンバサダー。



【特別授業】 11月28日(土)

辰巳満次郎 (宝生流シテ方)

1959年神戸生まれ。父・故辰巳孝に師事し4歳で初舞台。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。18世宗家故宝生英雄(ふさお)の内弟子となり、1986年独立。東京大阪間の東海道を中心に全国で公演や実技指導、普及活動を行うとともに、多くの海外公演も参画する。新作活動にも意欲的で、2018年と2021年にはサラマンカホールにて、「サラマンカ能」を演出・主演。パイプオルガンと舞う能舞「SALAMANCA」、能舞「SHISHI」を制作した。2001年重要無形文化財総合指定の認定。2005年度大阪文化祭賞奨励賞受賞。(一社)日本能楽会会員。(公社)宝生会理事。「七宝会」「満次郎の会」「巽会」「宝生流あまねく会」主宰。2020年(一社)日本芸術文化戦略機構(JACSO)を設立、現在名誉理事長。



【シリーズ6】 10月17日(土)

岡田暁生 (京都大学名誉教授)

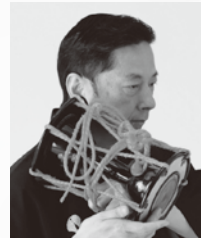
1960年、京都市生まれ。音楽学者、京都大学名誉教授。大阪大学大学院博士課程単位取得満期退学。1991年までミュンヘン大学およびフライブルク大学に留学。2001年に『オペラの運命』でサントリー学芸賞受賞、2009年に『ピアニストになりたい!』で芸術選奨新人賞、『音楽の聴き方』で吉田秀和賞受賞。十九世紀のオペラおよびピアノ音楽の研究から出発し、近年ではジャズ史とも取り組んでいる。近刊に『モーツァルト』(ちくまプリマー新書)およびコロナ時代の音楽を論じた『音楽の危機』(中公新書:小林秀雄賞受賞)が話題を呼んだ。



大倉源次郎

(小鼓方大倉流 十六世宗家 人間国宝)

人間国宝。(公社)能楽協会副理事長。(一社)日本能楽会会員。小鼓方大倉流十六世宗家。1957年大阪生まれ。父十五世宗家大倉長十郎に師事。1964年独鼓「鮎の段」にて初舞台。1981年甲南大学卒業。1985年十六世宗家を継承。2017年に重要無形文化財保持者各個認定(人間国宝)。大阪文化祭奨励賞、咲くやこの花賞(大阪市)、大阪舞台芸術賞奨励賞(団体)、大阪文化祭賞(団体)、観世寿夫記念法政大学能楽賞などを受賞。流派を越えて21世紀の能を考える「能楽座」座員。新作能、復曲能に数多く参加すると共に海外公演も多い。著書に『大倉源次郎の能楽談義』(淡交社)、『能から紐解く日本史』(扶桑社)、『能の起源と秦氏』(ヒカルランド)がある。



【シリーズ7】 2027年1月23日(土)

青柳いづみこ (ピアニスト・文筆家)

安川加壽子、ピエール・バルビゼの両氏に師事。マルセイユ音楽院首席卒業、東京藝術大学大学院博士課程修了。ドビュッシー研究で学術博士号。平成2年度文化庁芸術祭賞。演奏と文筆を兼ね、著作は36点、CDは26枚。『翼のはえた指』で吉田秀和賞。2015年からショパン・コンクールを視察し、『ショパン・コンクール』(中公新書)、『ショパン・コンクール見聞録』(集英社新書)を上梓。日本演奏連盟、日本ショパン協会理事、大阪音楽大学名誉教授。兵庫県養父市芸術監督。HP: <https://ondine-i.net>



【シリーズ8】 2027年2月6日(土)

吉原真里

(東京大学グローバル教育センター教授)

ハワイ大学アメリカ研究学科学科教授、東京大学グローバル教育センター教授。専門はアメリカ文化史、アメリカアジア関係史、ジェンダー研究、カルチュラル・スタディーズなど。著書『不機嫌な英語たち』『親愛なるレニー・レナード・パーンスタインと戦後日本の物語』『ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール市民が育む芸術イベント』『「アジア人」はいかにしてクラシック音楽家になったのか? 人種・ジェンダー・文化資本』など多数。



サラマンカメイトのご案内

- 特典**
- ・チケットの先行販売
 - ・チケットの割引(1公演2枚まで)※対象外あり
 - ・プレミアムシートを限定販売
 - ・ダイレクトメールによるコンサートのご案内
 - ・ミュージックショップでの割引 ※対象外あり

申込方法 窓口および、インターネットにて受付
※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにご用意しています。

年会費 2,000円
※年会費の口座振替もご利用ください。

交通アクセス・駐車場



自動車

- 名神高速道路・岐阜羽島IC、東海環状自動車道・岐阜ICより車で約25分
- 東海北陸自動車道・岐阜各務原ICより車で約30分
- 無料駐車場完備

公共交通機関

- JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分
- 名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
- ★岐阜バス:「OKBふれあい会館」で下車
- JR西岐阜駅(南口)からタクシーで約5分
- JR東海道新幹線・岐阜羽島駅からタクシーで約25分